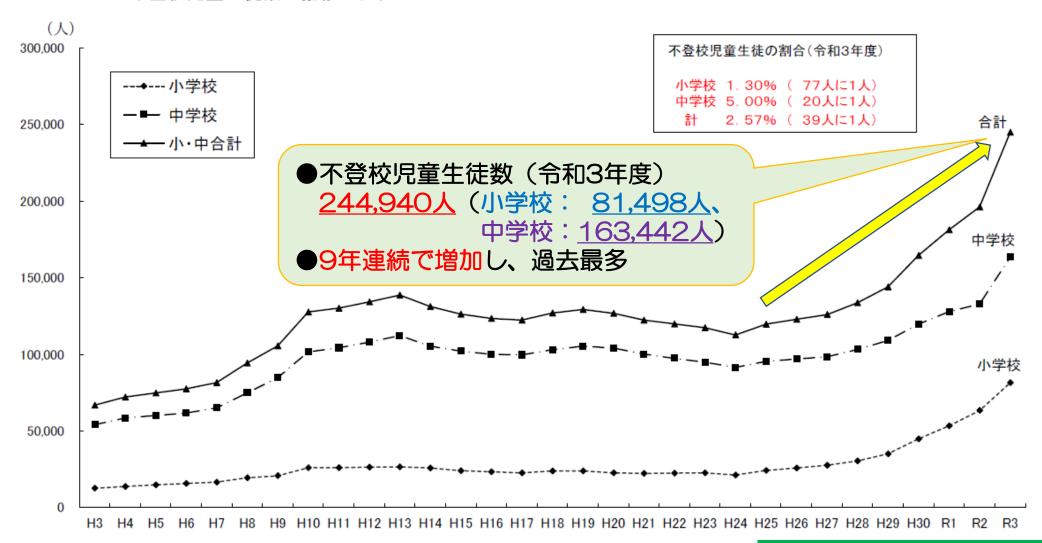
## 11月定例教育委員会会議「自由討議」

# コロナ以来における不登校の実態と対策

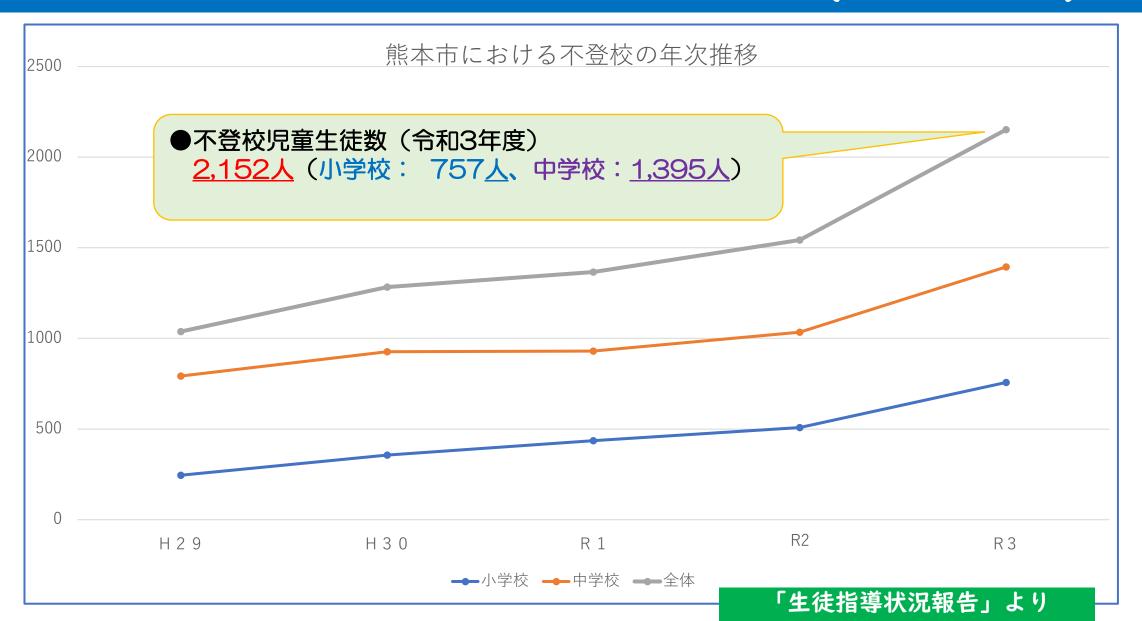
令和4年11月24日 総合支援課

# 不登校児童生徒数の推移(全国)

不登校児童生徒数の推移のグラフ



# 不登校児童生徒数の推移(熊本市)



#### 指定都市別 1000人当たりの不登校児童生徒数

順位	指定都市名	小学校 (人)	指定都市名	中学校 (人)	指定都市名	小·中合計 (人)
1	熊本市	18.6	大阪市	75.9	熊本市	35.8
2	福岡市	17.8	熊本市	72.1	大阪市	33.8
3	札幌市	15.6	静岡市	66.1	札幌市	31.8
4	浜松市	15.5	札幌市	64.6	浜松市	30.6
5	堺市	15.1	浜松市	61.1	静岡市	29.8
6	広島市	15	仙台市	59	福岡市	29.3
7	横浜市	14.8	神戸市	58.9	仙台市	28.7
8	大阪市	14.7	相模原市	55.2	神戸市	27.6
9	岡山市	14.6	福岡市	54.4	広島市	27
10	仙台市	13.8	広島市	54	相模原市	26.7
11	新潟市	13.3	新潟市	52.1	新潟市	26.3
12	神戸市	13.1	名古屋市	52	横浜市	25.9
13	京都市	12.9	横浜市	51	名古屋市	24.5
14	川崎市	12.8	川崎市	50.2	堺市	24.1
15	相模原市	12.8	北九州市	49.7	川崎市	23.6
16	静岡市	12.6	京都市	45	岡山市	23.6
17	名古屋市	12	岡山市	42.5	京都市	23.1
18	千葉市	11	堺市	42.1	北九州市	22.5
19	北九州市	9.1	千葉市	34.1	千葉市	18.7
20	さいたま市	8	さいたま市	33.8	さいたま市	16.2

#### 指定都市別 不登校児童生徒数における90日以上欠席のある生徒の割合

順位	指定都市名	90日以上欠席のある 不登校児童生徒の割合
1	北九州市	68.4%
2	さいたま市	65.1%
3	岡山市	62.9%
4	札幌市	60.1%
5	大阪市	59.2%
6	浜松市	58.5%
7	京都市	58.3%
8	仙台市	57.5%
9	相模原市	57.1%
10	堺市	56.9%
11	川﨑市	56.2%
12	静岡市	56.1%
13	横浜市	54.4%
14	新潟市	54.2%
15	千葉市	53.9%
16	広島市	53.7%
17	神戸市	52.2%
18	熊本市	52.1%
19	名古屋市	50.4%
20	福岡市	41.4%

不登校児童生徒数 と1000人当たり の不登校児童生徒 数から、おおよそ の総児童生徒数を 割り出している。

#### 指定都市別 1000人当たりの長期欠席児童生徒数

順位	指定都市名	小学校 (人)	指定都市名	中学校 (人)	指定都市名	小中合計 (人)
1	さいたま市	86.5	大阪市	109.8	さいたま市	85.0
2	北九州市	52.7	北九州市	108.3	北九州市	71.1
3	大阪市	48.9	仙台市	84.8	大阪市	67.9
4	岡山市	36.8	熊本市	84.5	岡山市	52.0
5	横浜市	36.7	岡山市	83.9	仙台市	48.7
6	堺市	35.0	京都市	81.2	横浜市	46.6
7	仙台市	30.9	さいたま市	81.0	堺市	46.4
8	京都市	30.1	神戸市	76.8	京都市	46.3
9	相模原市	29.3	静岡市	76.2	熊本市	44.0
10	福岡市	29.1	札幌市	75.7	札幌市	43.6
11	札幌市	27.8	広島市	73.9	神戸市	42.3
12	川﨑市	27.0	浜松市	72.4	相模原市	42.2
13	神戸市	26.3	堺市	69.1	福岡市	41.7
14	広島市	24.8	福岡市	69.0	浜松市	40.5
15	熊本市	24.8	横浜市	68.8	広島市	39.9
16	名古屋市	24.7	相模原市	68.7	川﨑市	37.3
17	浜松市	24.7	川﨑市	62.6	静岡市	36.8
18	千葉市	23.8	名古屋市	62.0	名古屋市	36.3
19	静岡市	18.1	新潟市	60.9	千葉市	34.3
20	新潟市	15.6	千葉市	55.3	新潟市	30.8

不登校児童生徒数 と1000人当たり の不登校児童生徒 数から、おおよそ の総児童生徒数を 割り出している。

#### 指定都市別 長期欠席者内訳

順位	指定都市名	不登校 /長期欠席 者数(%)	指定都市名	病気 /長期欠席 者数(%)	指定都市名	新型コロナ感 染回避/長期 欠席者数(%)	指定都市名	その他 /長期欠席 者数(%)
1	新潟市	85.53	京都市	19.86	さいたま市	34.95	さいたま市	39.16
2	熊本市	81.45	千葉市	19.22	北九州市	26.5	北九州市	30.6
3	静岡市	81.03	堺市	16.38	大阪市	25.92	岡山市	26.09
4	浜松市	75.61	広島市	14.06	横浜市	22.19	京都市	17.07
5	札幌市	72.86	大阪市	14.03	仙台市	20.41	浜松市	16.53
6	福岡市	70.31	岡山市	13.55	川﨑市	17.94	堺市	14.66
7	広島市	67.67	川﨑市	12.96	神戸市	17.38	横浜市	14.45
8	名古屋市	67.41	神戸市	12.46	堺市	17	千葉市	11.66
9	神戸市	65.26	福岡市	12.09	岡山市	14.97	福岡市	11.63
10	川﨑市	63.32	熊本市	11.92	千葉市	14.62	仙台市	10.53
11	相模原市	63.29	北九州市	11.27	京都市	13.18	大阪市	10.26
12	仙台市	58.96	札幌市	11.02	名古屋市	12.85	名古屋市	10.19
13	横浜市	55.57	相模原市	10.28	広島市	10.99	広島市	7.28
14	千葉市	54.5	仙台市	10.1	札幌市	9.21	札幌市	6.91
15	堺市	51.96	名古屋市	9.56	静岡市	7.91	相模原市	6.76
16	京都市	49.89	静岡市	8.03	相模原市	6.76	川﨑市	5.78
17	大阪市	49.79	横浜市	7.79	新潟市	6.55	神戸市	4.89
18	岡山市	45.39	さいたま市	6.84	浜松市	6.43	新潟市	3.08
19	北九州市	31.63	新潟市	4.84	福岡市	5.97	静岡市	3.03
20	さいたま市	19.05	浜松市	1.43	熊本市	4.81	熊本市	1.82
	指定都市平均	56.12	指定都市平均	11.22	指定都市平均	18.29	指定都市平均	14.38

「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より

## 不登校の要因

#### <小学校>

- 1 無気力・不安(49.7%)
- 2 親子の関わり方(13.2%)
- 3 生活リズムの乱れ、あそび、非行(13.1%)
- <中学校>
- 1 無気力・不安(49.7%)
- 2 いじめを除く友人関係をめぐる問題(11.5%)
- 3 生活リズムの乱れ、あそび、非行(11.0%)
- ※「いじめ」を要因とする不登校生徒の割合 小学校0.3% 中学校0.2% 平均0.2%

(平成28年)

教育機会確保法 ※1

(令和元年)



不登校児童生徒への支援の在り方について ※2

(令和4年)



不登校に関する調査研究協力者会議報告書 ※3 ~今後の不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について~

※1~3は別添資料あり

- 1 教育機会確保法・基本方針の周知
  - →義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律
- 2 心の健康の保持に関する教育の実施及び一人一台端末を活用した早期発見
  - →SOSの出し方教育
  - →ICTを活用した教育相談
- 3 困難を抱える児童生徒に対する支援ニーズの早期把握
  - →児童生徒理解等の会議
- 4 不登校特例校設置推進
- 5 学校内の居場所づくり
  - →不登校対策サポーターの配置

「不登校に関する調査研究協力者会議報告書〜今後の不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について〜」について(通知) 令和4年6月文科省より

- 6 フリースクール等民間団体との連携
- 7 教育支援センターの機能強化
  - →フレンドリーの拡充
- 8 教育相談の充実
  - →SC SSWの活用、ICTを活用したオンラインカウンセリング
- 9 家庭教育の充実
  - →親の会等の実施
- 10 指導要録上の出席扱いについて
  - →学校外の学習活動、自宅におけるICT等

「不登校に関する調査研究協力者会議報告書〜今後の不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について〜」について(通知) 令和4年6月文科省より

学校復帰「学校に登校する」

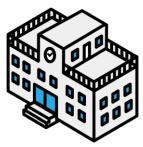


社会的自立

関わりを切らない 「どこにもつながっていない子どもをなくす」 「だれ一人取り残すことのない」

# ●不登校児童生徒の支援について







別教室での支援 不登校対策サポーター等 心のサポート相談員(小のみ)

学校の授業配信





フレンドリー あいぱる大江教室 火の君教室 植木教室 清水教室 新町教室

フリースクール

総合支援課学校サポート班 328-2743

教育相談室 362-7078(事務室) 362-7070(相談用)

フレンドリーオンライン

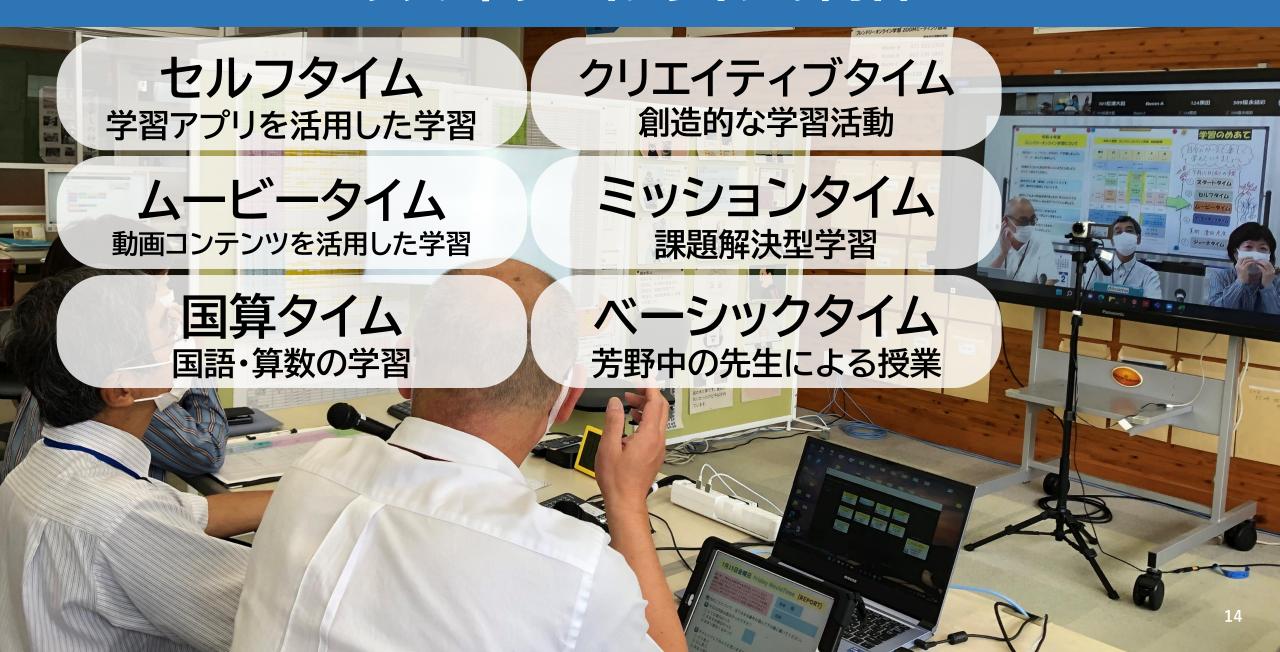


ユア・フレンド(大学生による対話)

スクールカウンセラー(心理の専門家)

スクールソーシャルワーカー(福祉の専門家)

#### フレンドリーオンラインの内容



# フレンドリーオンラインの内容

### 心すっきりタイム SCによるお話し



## わくわく学習 GTによる出前授業



### フレンドリーオンライン申し込み者

申込者数 270名 (小学生64名、中学生206名)

## 参加者数 218名

	正式参加者	体験者	参加者合計
小学生	44	5	49
中学生	140	29	169
合計	184	34	218